

## \* \* インフルエンザ予防接種 \* \*

～予防接種の有効性や副反応について～

インフルエンザの予防接種を受ける前に、この説明書をお読みいただき、予防接種の有効性や副反応について、よく理解した上で接種を受けるようにしましょう。

## インフルエンザとは

インフルエンザウイルスに感染することで起こる急性疾患です。（風邪ではありません）

- どうして感染するの？  
インフルエンザにかかった人が咳やくしゃみをすることで、その飛沫が空気中に広がり、それを吸い込むことによって感染します。
- インフルエンザの流行時期は？  
通常、初冬から春先に多くみられます。
- インフルエンザの症状は？
  - ・ 突然の高熱
  - ・ 頭痛、悪寒
  - ・ 関節痛、筋肉痛 …… その他、のどの痛み、咳、鼻水などもみられます。
- インフルエンザの特徴は？
  - ・ 普通の風邪に比べて全身症状が強い
  - ・ 気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多い

## インフルエンザの予防について

インフルエンザ予防の基本は、流行前に予防接種を受けることですが、予防接種を受けても感染することがありますので、日頃から予防対策を心掛けましょう。

感染を予防のためには・・・

- ① 人混みは避ける
- ② 日頃から十分な栄養や休息をとる
- ③ 空気の乾燥を防ぐため、室内では加湿器などを使って加湿する
- ④ 外出時のマスクや帰宅時のうがい・手洗い

## インフルエンザ予防接種の有効性

- 感染後に発症する確率を低減し、発症した場合には重症化防止に有効です。
- 予防接種を受けてからウイルスに対する抵抗力がつくまでには2週間程度かかります。
- 効果が持続する期間は約5か月間とされていますが、より有効性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行する前に接種を受けておく必要があります。
- 一般的に、大人は1シーズンに1回の接種で十分効果があります。

## インフルエンザ予防接種を受ける前に

- 予防接種についての注意  
予診票は、医師が予防接種できるかどうかを判断するために大切なものなので、接種を受ける人が責任をもって記入しましょう。気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に医師によく相談して、十分に納得したうえで接種を受けるようにしてください。

## 予防接種を受けることができない方

- ① 明らかに発熱のある方（一般的には体温が37.5℃を超える場合）
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方
- ③ インフルエンザワクチンに含まれる成分によって、過去にアナフィラキシー（※）を起したことがある方  
※ アナフィラキシー  
通常、接種後約30分以内に起こる、ひどいアレルギー反応のことです。  
症状・・・発汗、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐、声が出にくい、呼吸困難などに続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。
- ④ その他、医師が不相当と判断した場合

### 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない方

- ① 心臓病、じん臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている方
- ② 過去にインフルエンザの予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発疹、アレルギーと思われる異常が見られた方
- ③ 今までにけいれんを起したことがある方
- ④ 中耳炎や肺炎などにかかりやすく、免疫状態の異常を指摘されたことがある方
- ⑤ ぜんそくと診断されたことがある方
- ⑥ インフルエンザワクチンの成分または鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対してアレルギーがあるとされたことがある方

### 接種後の注意

- ① 予防接種を受けたあと約30分間は、急な副反応が起こることがあります。医療機関とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。(可能であれば安静にしてください。)
- ② 副反応の多くは24時間以内に現れますので、特にこの間は体調に注意しましょう。
- ③ 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ④ 接種当日は普通どおりの生活をして構いませんが、激しい運動や多量の飲酒は避けましょう。

### インフルエンザ予防接種の副反応

予防接種した部位が赤みを帯びたり、腫れや痛みが出たりすることがあります。また、熱が出たり、寒気、頭痛、全身のだるさなどがみられることもあります。いずれも通常2～3日のうちに治ります。

極めてまれに、ショックやじんましん、呼吸困難があらわれることがあります。

- ① 通常みられる副反応  
発熱・接種箇所の発赤・腫れ・しこり・発疹などが比較的高い頻度で認められますが、通常数日以内に自然に治るので心配はありません。
- ② 重い副反応  
高熱・接種箇所のひどい腫れや激しい痛み・繰り返す嘔吐・じんましんなどが現れたら、医師の診察を受けてください。  
極めてまれですが、脳炎や神経症状などの健康被害が生じる場合もあります。

### 予防接種健康被害救済制度について

万一、接種による健康被害が発生した場合には、その健康被害とインフルエンザ予防接種との間に関係があると認定されると「被害救済」の対象となります。

### その他

医師の説明を聞いたうえで本人が接種を希望しなかった場合や、家族やかかりつけ医の協力を得ても本人の意思確認ができなかったため接種をしなかった場合、当日の身体状況等により接種をしなかった場合等においては、その後、インフルエンザに罹患、あるいは罹患したことによる重症化、死亡が発生しても、担当した医師にその責任を求めることはできません。

- 認知症などで明確な意思の確認が困難な場合には、家族によって特に慎重に本人の接種意思の有無を確認し、接種適応を決定する必要があります。最終的に意思確認ができない場合には、予防接種法に基づく接種はできません。
- 本人の自署が難しい場合は、ご家族、施設職員、医療機関の方など、本人の意思を確認できる方が代筆してください。

【お問い合わせ】所沢市保健センター健康管理課  
予防接種担当

TEL 04-2991-1811